

世界的には高病原性鳥インフルエンザの発生が継続しています

家畜伝染病侵入防止のため、防疫対策の再確認、再徹底をお願いします！

○ **車両消毒**の徹底、交差汚染の防止

特にと畜場、化製場、家畜市場など畜産施設に出入りした際は、消毒を徹底

- **畜舎専用衣服・靴**の着用
- **農場・畜舎へ入る際の手指の消毒**
- **畜舎・器具のこまめな清掃、消毒**
- **野生動物との接触・侵入防止対策**の徹底



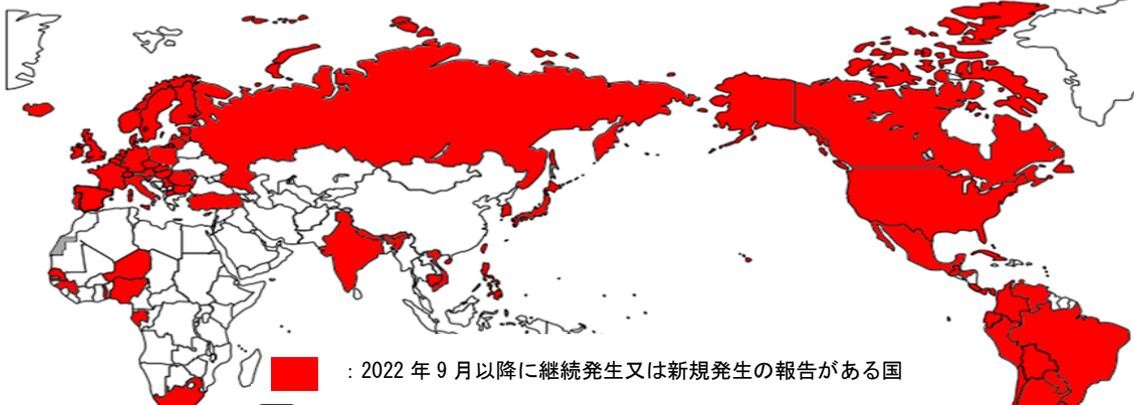
ネズミ、昆虫の駆除、豚舎外壁の補修、防護柵・防鳥ネットの設置等を徹底

- 毎日の**健康観察と早期発見**及び異常時の**早期通報**
- **高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生地域、非清浄地域への不要不急の渡航自粛**

- 外国人技能実習生等の外国人従業員を受け入れている場合は、日本への持込みが禁止されている**肉製品等**が母国を含む**海外からの携帯品、国際郵便物等**によって**持ち込まれることのないよう、当該従業員等への周知徹底**

高病原性鳥インフルエンザの発生・感染報告状況(2022年9月以降)

※WAHIS等への報告に基づく最終発生・感染報告日を記載



《ロシア・EU諸国》		
ロシア	HSN1	2023.6.30 [2023.7.5]
モルドバ	HSN1	2023.1.19

《アフリカ》		
南アフリカ共和国	HSN1	2023.1.6 [2022.12.1] 2023.6.11 [2023.6.5]
不明		
ニジェール	HSN2	2022.11.29
ナイジェリア	HSN1	2022.12.18
セネガル	HSN1	2023.4.26
ギニア	HSN1	[2023.3.8]
ガボン	HSN1	2023.5.10 [2023.4.15]
タンザニア	HSN1	2023.4.13 [2023.6.21]

《南北アメリカ》		
米国	HSN1	2023.5.13 [2023.5.12]
HSN4		2022.9.10
HS		[2023.5.8]
カナダ	HSN1	2023.5.5 [2023.1.1]
HS		[2023.2.2]
メキシコ	HSN1	2023.4.14 [2023.3.20]
パナマ	HSN1	[2023.3.10]
エクアドル	HSN1	2023.4.13 [2023.1.12]
コロンビア	HSN1	2023.2.20 [2023.3.3]
ベネズエラ	HSN1	[2022.11.17]
ペルー	HS	2023.1.6 [2022.12.10]
不明		2023.2.15
パラグアイ	HSN1	2023.5.30 [2023.2.22]
ホンジュラス	HSN1	2023.5.31
チリ	HS	[2023.2.16]
コスタリカ	HS	2023.5.11 [2023.3.3]
グアテマラ	HSN1	[2023.2.26]
アルゼンチン	HS	2023.6.12 [2023.1.17]
ボリビア	HSN1	2023.3.20 [2023.1.1]
キューバ	HSN1	[2023.4.2]*
ブラジル	HSN1	2023.6.22 [2023.6.30]

《ヨーロッパ》		
アイスランド	HSN1	[2023.3.23]
アイスランド	HSN1	2022.11.18 [2023.7.3]*
イタリア	HSN1	2023.4.24 [2023.6.23]
英国	HSN1	2023.5.28 [2023.6.29]
オランダ	HSN1	2023.1.26 [2023.3.31]
北マケドニア	HSN1	[2022.11.3]
スイス	HSN1	2023.3.19 [2023.6.6]
スウェーデン	HSN1	2023.6.25 [2023.7.1]
HS		[2023.1.16]
スペイン	HSN1	2023.2.4 [2023.6.2]
スロベニア	HSN1	2023.2.24 [2023.5.31]
セルビア	HSN1	[2023.5.16]
デンマーク	HSN1	2023.4.24 [2022.5.14]
ドイツ	HSN1	2023.7.11 [2023.6.29]
ノルウェー	HSN1	2022.11.10 [2023.6.29]
ポーランド	HSN1	2023.6.29 [2022.9.27]
ポルトガル	HSN1	2022.9.27 [2022.11.15]
ルーマニア	HSN1	2023.1.28 [2023.6.24]
ハンガリー	HSN1	2023.4.21 [2023.7.6]
フィンランド	HSN1	[2023.6.25]
HS		[2022.9.22]
フランス	HSN1	2023.6.2 [2022.10.2]
フェロー諸島	HSN1	2022.10.2 [2022.9.22]
ベルギー	HSN1	2023.6.2 [2022.11.24]
ブルガリア	不明	2022.10.20
HSN1		2023.3.30
ベルギー	HSN1	2023.2.21 [2023.6.27]
ルクセンブルグ	HSN1	2023.5.27 [2023.5.24]
ポーランド	HSN1	2023.6.29 [2022.9.27]
ポルトガル	HSN1	2022.9.27 [2022.11.15]
ルーマニア	HSN1	2023.1.28 [2023.6.24]
チェコ	HSN1	2023.5.12 [2023.5.27]
オーストリア	HSN1	2023.3.30 [2023.6.13]
スロバキア	HSN1	2023.1.31 [2023.1.31]
キプロス	HSN1	2022.11.24 [2022.11.28]
トルコ	HSN1	2023.2.23 [2023.2.18]
エストニア	HSN1	[2023.6.21]
リトアニア	HSN1	[2023.7.3]
ラトビア	HSN1	[2023.7.3]

《アジア》		
日本	HSN1	2023.4.7
HSN2		2023.1.16 [2023.4.20]
HS		[2023.4.19]
韓国	HSN1	2023.4.14 [2023.4.25]
台湾	HSN1	[2023.4.27]
HSN2		2023.1.23
HSN5		2023.1.12
香港	HSN1	[2022.12.5]
イスラエル	HSN1	2023.1.11 [2023.1.19]
フィリピン	HSN1	2023.4.29 [2023.1.4]
HSN6		2023.1.4
ベトナム	HSN1	2022.10.3
インド	HSN1	2023.4.13 [2023.6.3]
ネパール	HSN1	[2023.2.9]
カンボジア	HSN1	[2023.2.24]
ブータン	HSN1	2023.3.11

※動物園における発生 出典:OIE等
2023年7月11日現在
 ※[]は野鳥及び愛玩鳥等における感染事例を示す。
 ※本図は感染事例の報告の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していません。
 ※型別に最新の発生事例を記載
 ※白色の国、地域であっても継続感染等により報告されていない可能性もある。
 ※WAHIS:World Animal Health Information Systemとは、OIE(国際獣疫事務局)が提供する動物衛生情報システムである。

配合飼料タンクの安全性についてご確認ください！



配合飼料タンクに飼料を補充する際、タンクの支柱の腐食などにより、飼料輸送に従事されている方に危険が生じる可能性があります。以下の点に注意して、飼料タンクの安全な使用・管理をお願いします。

➤ 既存の配合飼料タンクの安全点検について

すでに設置されている配合飼料タンクについて以下の点検を行いましょう。問題がある場合には、飼料メーカー等に連絡し、協議を行い対処しましょう。

- ✓ 配合飼料タンクを支える支柱やはしごなどに腐食や不具合はありませんか？
- ✓ 配合飼料タンクが傾いていませんか？
- ✓ 配合飼料タンク周辺の除草など周辺環境の整備を行い、はしごの昇降がスムーズに行えるようにしましょう。



➤ 新たに設置・更新する配合飼料タンクについて

高所作業の負担を軽減するため、今後設置・更新等を行う予定のある配合飼料タンクについて、以下のことをご検討ください。

- ✓ 高さ2m以上で作業を行い、墜落の可能性が想定される場合は飼料タンクに背かご付のはしご等を導入する。
- ✓ 飼料タンクのはしごを上らずに蓋の開閉ができる紐を付ける。
- ✓ はしごに上らずにタンク内の飼料残量を確認できるセンサー等の技術を活用する。



➤ 地域の飼料輸送体制の維持について

配合飼料輸送は高所作業・専門技術を要するため、今後、ドライバー確保が難しくなる懸念があります。今後も輸送体制を維持するために、以下についてご協力をお願いいたします。

- ✓ 飼料メーカー、輸送業者等が効率的な飼料の製造計画や発送スケジュールを組めるよう、タンク内の飼料の残量の適切な把握や余裕を持った発注を行う。
- ✓ 飼料タンク内の飼料の残量確認など、付帯作業を輸送業者に依頼する場合、業務に応じた料金を支払う。
- ✓ まとまった量で注文するなど、輸送回数の低減に協力する。



お問い合わせ 中央家畜保健衛生所 畜産支援・安全対策担当

埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL: 048-663-3071

（24 時間、土日祝日も受付）